

小中学校の新たなスタートへ向け 運動着デザインなど準備着々と

来年度行われる学校再編へ向けた準備が着々と進んでいます。今号では、現在の進行状況についてお知らせします。

◎新設校の運動着デザインが決定

山田小学校(新設校)開校に向け、7月23日に開催された第3回学校再編推進準備委員会において、山田小学校就学対象地区の小学校に通う1年生から5年生

◆新運動着デザイン(案)

種類	色	デザイン
長袖トレーニングシャツ	青色系	ハーフジップ(胸までジップがあるもの)
トレーニングパンツ	青色系	ストレート(膝から裾まで同じ太さのもの)
半袖Tシャツ	白(透けにくいもの)または紺色などの濃色	クルーネック(丸首)
ハーフパンツ	青色系	膝上丈

までの保護者へのアンケート調査結果と教職員の意見も集約しながら、左上の表のとおり、新運動着のデザインを決定しました。

◎各校で交流学習行われる

豊間根小学校と荒川小学校では、6月に3・4年生を対象とした英語や体育の合同授業、7月には5・6年生を対象に、水泳記録会に向けた合同水泳練習を実施しました。

◎中学校統合後の制服変更

山田中学校と豊間根中学校の統合に伴い、両校の教職員、PTAなどで組織する統合準備委員会では、制服を一新することに決定しました。デザインは3案で、9月2日から10月4日にかけて、PTA会員および小学5年生から中学3年生の児童生徒へアンケート調査を実施します。その結果をもとに、教職員などの意見を参考にしながら、11月ごろに統合準備委員会で決定

します。再編後に児童が安心して、希望を持って学校生活を送れるように、各校で交流学習が行われています。

合同水泳練習では、指導者に豊間根中学校体育科教諭を迎えました。児童同士の交流はもちろん、中学校の先生からの指導も良い刺激となったようです。このほか、2学期には、1・2年生を対象とした交流学習を計画しています。

来年度に山田小学校へ就学することになる6校では、高学年を対象として、震災学習列車活用スクールを実施。三陸鉄道を利用して、鶴住居復興スタジアムの見学をするなど、交流を図りました。

いじめのない学校目指し意見交流 第3回山田町児童生徒サミット

7月31日、町中央公民館小ホールで、第3回山田町児童生徒サミットが開催されました。参加したのは、町内各小中学校と高校の児童・生徒会役員56人。「楽しい学校を目指して～自分たちでつくろう!自分たちの学校～」をテーマに、各校の活動紹介やグループ協議を行いました。実行委員長の福浦真穂さん(山田高校2年・同校生徒会長)は「小中学校の再編統合には、期待と不安があると思いますが、新しいものをより良いものにするために、力を合わせる事が大事。山田の皆で山田の学校を作っていきます」と挨拶。佐々木茂人教育長は「誰もが楽しいと思う学校を作るためにできることは何かを考え、皆さんのリーダーとしての力が伸びていくことを期待します」と、激励しました。



活発な意見交流が行われました

サミットでは、各参加者がいじめのない楽しい学校生活を目指して行っている特色ある活動を紹介。また、意見交流も行われ「いじめのない学校」にするために何が必要か、話し合われました。

今回のサミットの成果が、皆が安心して学べる楽しい学校生活づくりにつながる事が期待されます。

復興ありがとうホストタウン事業

オランダ空手選手と交流しよう

シスカ・ファンデルフォールト選手が来町

日時 9月9日(月)
午後7時開始

場所 山田町立武徳殿

内容 空手道を通じた交流会

復興ありがとうホストタウン事業の一環として、オランダの空手選手との交流会を開催します。参加や見学を希望する人は直接会場へお越しください。

●シスカ選手について

シスカ選手は、全オランダ空手道選手権大会で優勝したほか、世界空手連盟(WFK)主催の空手プレミアリーグにおいて、準優勝を3回するなど、



現役の空手選手です。9月6日から8日にかけて日本武道館で行われるプレミアリーグにも出場する予定です。



左上からエリックさん、妻のクレールさん、娘のゾイさん(左下)、息子のフィリックスくん(町中央公民館前で)

35年前の絆今でも

昭和59年から2年半に渡り、山田町で過ごしたアメリカ人のエリック・アルズルーさん(57)が本町を訪れました。35年前、ALIT(外国語指導助手)として、本町に勤務していたエリックさんは、小中学生や社会人を対象に『生きた英語』を教えていました。7月に、観光のために家族で来日したエリックさん。日本各地に行き、休暇を楽しん

だそうです。今回本町を訪れた目的は、35年来の友人に会うことだったそうで「多くの思い出が残っている山田町を、子どもたちに見せることができ、感慨深かった」と、喜びを表しました。

当時感じた、山田町の印象について「町民皆が優しく親切だった。さまざまな経験が心の中に残っています」と、妻目を細めるエリックさん。妻

のクレールさんも本町のALITとして2年間勤務した経験があり、山田町にいた時に経験した生活や食文化、日本人らしい考え方は、帰国後も2人に影響を与えていたといいます。最後に「東日本大震災で被災し、亡くなった知り合いもいた。実際に被害を目の当たりにして悲しくなったが、山田の人は強く勇ましい。頑張ってく、ださい」と町民へエールを送りました。

鯨峰爽やかに

(前号からの続き)

私がお勧めしていることの三つ目は足裏マッサージュです。子どもにうつ伏せになってもらい、足の裏を親指で押すのです。

実は、この足裏マッサージュは、この間まで大リーグで活躍していたイチロー選手の父親であるチチローさんが、子どもの頃のイチロー選手にしていたことの一つです。

野球選手として長年活躍できたのは、もちろん本人の努力が一番ですが、チチローさんがイチロー選手の足裏マッサージュを通して、体の変化に気づいていたからかもしれません。

人の思いは言葉で伝えることもできませんが、体の変化や疲労度は、互いに触れ合うことで感じ取ることができるものだと思います。

皮膚は第三の脳とも言われていますが、このことは触れ合うことの大切さを別の言葉で表したものでないでしょうか。

教育長 佐々木 茂人